

事業番号	10 02 13	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	原木栽培きのこ等安定供給推進事業			担当課	部局	林務部			
					課・室	信州の木活用課			
総合5か年計画	プロジェクト	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり			E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp			
	施策の総合的展開	4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進			実施期間	H26 ~			

1 事業の概要

目指す姿	原木栽培きのこ生産者の経営の安定と生産量の増加を図るため、生産者への支援を行い、農山村において主要な産業である特用林産物の振興と地域の活性化を推進する。							
現状 (予算編成時)	○東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響により、全国的な原木栽培きのこの販売価格の低下、主要な原木の産地であった福島県からの原木の出荷停止、それらによる原木不足や原木の高騰等が生じており、生産者の経営を逼迫するとともに、生産量の減少がおきている。							
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)		【左記の説明、根拠法令等】					
	県民との協働による実施: 実施中		全国的なきのこ販売価格の低下や資材の高騰等、地域の産業であるきのこ生産者等の支援が必要。特用林産産地振興総合対策事業実施要綱					
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)							
	○原木しいたけ生産量130tが目標 ○平成25年度実績111t、H31年度に東日本大震災前の生産量200tを目標とし、しいたけ原木の安定供給としいたけ生産及びその他特用林産物生産の振興に寄与							
	② 事業内容 (単位:千円)							
		項目	実施方法	H27事業実績		H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
		原木栽培きのこ等生産力増強対策事業	補助金	・被災地の復興、特用林産施設の効率化のための、次期生産に必要な生産資材の導入を支援。		18,800	22,305	21,563
	放射性物質検査体制強化事業	直接	・特用林産物の放射性物質検査。(249件)		1,948	845	1,362	
		補助金	・風評の払拭及び販路開拓。		204	41	204	
			合計		20,952	23,191	23,129	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算額	前年度繰越			11,942	
		当初予算		36,404	20,952	23,129
		補正予算		11,942	-7,200	
		合計(A)	0	48,346	25,694	23,129
	Aの財源	一般財源		249	1,945	1,360
		県債				
		国庫支出金		29,878	23,746	7,704
		その他	0	18,219	3	14,065
		決算額(B)		36,399	23,191	
概算人件費	職員数(人)		0.05	0.05	0.05	
	概算人件費(C)	0	413	414	414	
	概算事業費(B(A)+C)	0	36,812	23,605	23,543	

成果目標の達成状況					
項目	H26末 (実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
原木しいたけ生産量(t)(暦年)	92	130	99	未達成	130

目標に対する成果の状況	平成26年2月の大雪で生産施設が被災し、完全に復旧するには時間を要するため、平成27年は生産量は回復しつつあるものの(平成26年生産量92t)、目標の達成には至らなかった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない	<input type="checkbox"/> 事業を見直して実施	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	本事業により生産者への支援を継続しつつ、農山村の主要な産業である特用林産物の振興と地域の活性化を図る。		